

平成28年10月24日
NHK広報局

平成28年10月放送総局長定例記者会見要旨

○大相撲の生中継 スーパーハイビジョンで試験放送について（木田放送総局長）

11月13日から始まる大相撲九州場所を、毎日午後4時から6時まで8Kスーパーハイビジョンの試験放送でお伝えする。奥行き感のある超高精細な映像で力士の表情やダイナミックな動きを映し出すとともに、土俵の臨場感を大切にするため2.2チャンネルによる3次元の立体音響でお楽しみいただく。この試験放送は、全国のNHKの放送局や、NHKみんなの広場ふれあいホール、放送技術研究所でご覧いただける予定。

（詳細は報道資料を参照）

○11/20 NHKスペシャル「がん治療が変わる！～プレジジョンメディシンの衝撃～」

（木田総局長）

がん細胞の遺伝子を解析し、速やかに適切な薬を投与する「プレジジョンメディシン＝精密医療」によって劇的な効果をあげるケースが報告され、国内でも病院と製薬会社が集まって「SCRUM—JAPAN」と呼ばれるプロジェクトが始動。患者約3000人が参加し、100人ほどが薬の投与を受ける臨床試験に入っている。番組はプロジェクトに密着し、この治療が患者とその家族に何をもたらすのか。その可能性と課題を探る。

（詳細は報道資料を参照）

○11/23 <総合> 「ロスト北斎 幻の巨大絵に挑む男たち」（木田総局長）

浮世絵師・葛飾北斎が最晩年86歳の時に手がけた大作は、須佐之男命が疫病神たちを退治する様子を極彩色で描いた巨大な絵だったが、関東大震災で焼失してしまった。この幻の傑作をよみがえらせるプロジェクトが、北斎ゆかりの地、東京・墨田区に11月に開館する「すみだ北斎美術館」によって進められている。明治時代のモノクロ写真を手がかりに、先端技術と伝統的な修復技術を駆使して復元する過程を追いながら、北斎の人物像や絵に秘められた江戸の実像に迫る。

（詳細は報道資料を参照）

○アメリカ大統領選挙関連（木田総局長）

11月3日にBS1スペシャル「変貌するアメリカ～2016米大統領選を読み解く～」を二部構成で放送する。第一部は「居場所を失ったアメリカ人」をテーマに、トランプ候補が過激な発言を繰り返しても人気は衰えない背景を探り、第二部は、勝敗の鍵を握る女性たちの選択に迫る。また、11月5日のNHKスペシャルでは「分断社会・アメリカの選択～“トランプ現象”の行き着く先は～」を放送。富裕層と貧困層、白人と移民・黒人などの間で分断が広がるアメリカでいま何が起きているのか、その深層に迫る。

（詳細は報道資料を参照）

○東京オリンピック・パラリンピック関連番組について（安齋副総局長）

BS1では「リオからTOKYOへ～オリンピックへの旅立ち～」を11月26日に放送。劇作家・演出家の野田秀樹さんが、2度目の東京五輪に向けて、日本の文化を一段上げるべく世界に発信するイベント「東京キャラバン」の実現に奔走する姿をドキュメントする。総合では、11月12日に五輪の感動的な映像とオーケストラの壮大なサウンドで、五輪の感動を改めて感じてもらう「オリンピックコンサート」を放送。またNHKワールドTVでは、11月26日に「スポーツの力で社会が変わる～討論・2020東京パラリンピックにむけて」を放送する。

（詳細は報道資料を参照）

○11/12<Eテレ>100分 de 名著スペシャル「100分 de 手塚治虫」(安齋副総局長)
「漫画の神様」といわれる手塚治虫がデビューしてことしで70年。その作品は、いまでも多くのクリエイターや表現者に刺激を与え続けている。現代にも通じる手塚作品の魅力について、4人のゲストがそれぞれの専門分野から鋭く分析していく。女装パフォーマーのブルボンヌさんは「リボンの騎士」を「LGBT問題」の視点から考察し、映画監督の園子温さんは表現者の立場から、誰にもまねのできない「鉄腕アトム」の描線の魅力に肉迫する。このほか、11月3日にはNHKのアーカイブスから手塚さんの肉声を紹介し、その魅力に迫るFM番組「手塚治虫 自身が語ったルーツと音楽」をお送りする。
(詳細は報道資料を参照)

○11/6<Eテレ>「生放送 月刊きょうの料理スペシャル」(安齋副総局長)
毎日の食卓をより豊かにしていただくとう始まった「きょうの料理」は、来月で放送60年目に入る。番組開始当初は、ふだんの食卓にのぼる実用的な料理だけでなく、ビフテキやオムライスといった当時あこがれの洋食を紹介するなど、レシピは時代を映し出してきた。今回は、料理研究家の土井善晴さんが、長年にわたり番組を支えた父・勝さんが紹介した料理を振り返ったり、平野レミさんが、生放送中に視聴者から寄せられる質問やリクエストに答えながら料理を作ったりする。「料理」から見た日本の社会の変遷を描き、自分の手で作る「料理」の楽しさを伝える90分間。
(詳細は報道資料を参照)

○11/11<BS-P>「ステーキ世界一の旅」(安齋副総局長)
食欲の秋。「世界にはいったいどんなステーキがあるのだろうか？」世界で最もうまいといわれるステーキを求め、肉大好き俳優・佐々木蔵之介さんと肉料理で名をはせるシェフ・和知徹さんが、アメリカとヨーロッパへ。国、農家、肉屋ごとにあるという、独自の“肉哲学”とは？
(詳細は報道資料を参照)

Q. 10月からビデオリサーチ社が提供を開始した総合視聴率について。録画再生で見るタイムシフト視聴率が加わったが、受け止めや今後の活用について。

A. (木田総局長) 報道資料にあるデータが10月の第一週分だけなので、まだはっきりとは言えないが、テレビ放送がどれだけ録画されて再生されているのかを知るうえで重要な手掛かりが増えた。ドラマやアニメの録画率が高い傾向は分かっていたが、年齢層などは、なかなか分からなかった。比較的若い人のほうが年配の方よりもタイムシフトで見ているようだが、もっと細かい分析が必要だ。データが増えれば傾向も分析も、より確かなものになってくると思うので、効果的な編成などについて研究を重ね、よりよい番組をよりたくさんの人に見ていただけるようにしたい。
(主な番組の総合視聴率は報道資料を参照)